富士病院だより

第18号
2020年11月発行

理 念

人にやさしく信頼される病院

当院 5F から望む御殿場市内(撮影：園田院長)

基本方針

- 徹底した病診連携体制により地域の急性期医療を担います
- 医療のプロフェッショナルとして皆様の権利を守り質の高い医療を提供します
- 皆様の要望にやさしい言葉で対応します
- 医療を志した者が修得した技術をフルに活用できる病院を目指します
- 私たちは協調の心を常に心がけます

明るい話題を発見！

鈴木克行

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、日本中の医療機関の経営が深刻なダメージを受けています。私たち富士病院の職員は、この時代に発熱患者を診察しながら、地域医療・救急医療の継続にチャレンジしています。

今年は、高校サッカーで静岡学園が全国制覇し、オリンピックイヤーで日本中が期待と熱気に包まれてスタートしました。2 月に新型コロナウイルスの集団感染が世界を駆け巡り、クルーズ船で深刻な状況になることを予測、3 月国内の感染が急拡大、東京オリンピックが来年 7 月 23 日開催へ延期を決定。志村けんさんが亡くなったのも 3 月でした。記録を取り始めてもっとも気温の高い暖冬が終わり、4 月緊急事態宣言、桜の季節のはずが、入学式もなければすべての学校が休校、プロ野球もサッカーも中止、5 月末に第一波が落ち着き、緊急事態宣言が解除となりました。が、経済活動停止による各方面への打撃は計り知れず、自殺者が急増。そして、7 月の記録的な豪雨と巨大な台風は、日本をとことん苦しめました。浜松では国内観測史上最高気温の 41.1℃を記録、異常気象との戦いもコロナ禍で続きました。

共立産婦人科医院

明るい話題を探しましたが、結局、年初めの 1 月の高校サッカー以外は私にはありません。と思いきや、有隣厚生会グループの共立産婦人科医院がすごいことになってきました。

皆さん、共立産婦人科医院のホームページ(https://www.kyoritsu-lc.com/)を見てください。院長の五十嵐先生が若い医師を育て、名誉院長となり、吉田副院長と大学から来られている杉下先生、朱先生（女医）が中心になり、新しい施設として『すべての女性のために優しい医療を確かな技術で安心安全に提供します』を職員全員で実践する活動をスタートしました。変革は一気に進み、患者さまの要望に応えた対応をスピード感もって進めています。

御殿場市、小山町の産婦人科医療が変わります。これが私のとっておきの明るい話題です。

富士病院もスピード感をもって変革し、健全運営できるように、ガバナンスの強化、リスクマネジメントの取組の実践が重要です。そこで、医事課長の鈴木和実を事務長に任命し、他の事務系の部署も役割を与え、新体制で改革に臨みます。今後ともよろしくお願いいたします。

法人事務局長　鈴木克行

心臓カテーテル室の紹介

当院では、24 時間 365 日、循環器疾患（虚血性心疾患・心不全等）の患者さまの受け入れを行い、御殿場・小山地域の急性期医療を担っています。

虚血性心疾患の要となる心臓カテーテル室をご紹介します。

心臓カテーテル室では、医師・看護師・臨床工学技士・放射線技師が力を結集して患者さまの治療に従事しています。本年度（8 月末日現在）も心臓カテーテル検査 216 件、心臓カテーテル手術 264 件、ペースメーカー埋め込み術 62 件、カテーテルアブレーション（不整脈治療）69 件の実績を誇っています。

心臓カテーテル

心筋梗塞・狭心症が疑われる患者さまに対して、カテーテルを用いて冠動脈の造影を行います。冠動脈に狭窄や閉塞を認めた場合には、バルーンと言われる風船のようなもので血管を拡げます。その後、拡げた血管にステントと言われる金属のトンネルのようなものを挿入して、血液の流れを改善させます。緊急性が高い検査・手術であり、患者さまの「命」を最優先に考え治療にあたっています。

ペースメーカー埋め込み

心臓が出す電気信号の伝導異常によって心臓が正常に動くことができず、めまいや失神を起こしてしまう患者さまに対して、機械的電気刺激を行う器械を体内に埋め込みます。埋め込むことで心臓は正常に動けるようになり、もとの日常生活を取り戻すことができます。

カテーテルアブレーション

不整脈（心房細動・発作性上室性頻拍等）に対して、カテーテルを用いて心筋焼灼を行い、不整脈を根治する治療を行います。

御殿場で首都圏と同様の先端医療を患者さまが安心して臨んでいただけるように、日々研鑽をしていきたいと思っています。

3D 病棟　主任看護師　赤平法三

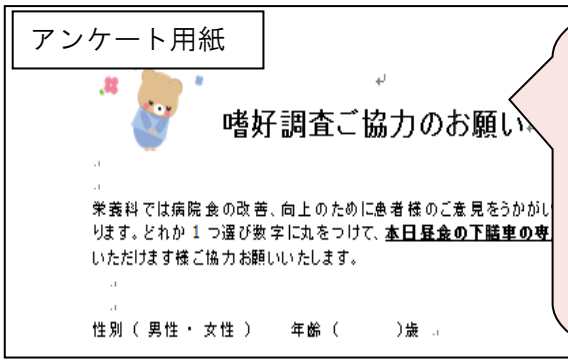
心臓カテーテル室

栄養科から嗜好調査結果のお知らせ

当院栄養科では、入院患者さまの症状や栄養状態に合わせた食事の提供により、状態の早期回復・合併症の予防を栄養面からサポートしています。また、在院中の栄養指導時に、患者食を参考にして退院後の食事管理についてもサポートできるよう努めています。

そこで、患者食についての満足度を向上させて、より良い治療のサポートができるように、年に一度、入院患者さまに対して患者食についての嗜好調査を行っています。
今年は、10 月 16 日～21 日にかけて行いましたのでご報告いたします。

アンケート用紙


嗜好調査ご協力のお願い

栄養科では病院食の改善、向上のために患者様のご意見をうかがい
ります。どれか 1 つ選び数字に丸をつけて、本日昼食の下膳車の横
いただけます様ご協力お願いいたします。

性別（ 男性・女性 ）　年齢（　　）歳

調査は無記名のアンケート記入＆一部聞き取り方式で計 44 名の患者さまに行いました。（有効回答者数 33 名）

患者さまの特徴としては、男女比に大きな差は無く、年齢別に見ると 70 代の方が最も多かったです。

食種毎に分けると、一般食が 42%、エネルギーコントロール食や塩分制限食等の特別食が 58%で、特別食の提供数の方がやや多い結果となりました。特に塩分制限食は全体の 45%と最も多く、去年より増加していました。

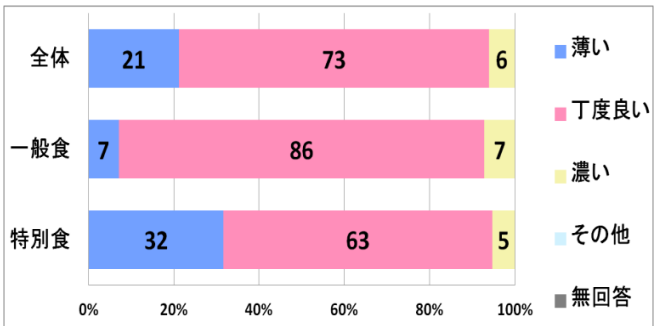


図1. 食事の味付け

一般食に比べ、特別食で味が薄いと感じている方が多い結果となりました。
これは、上記でも述べたように塩分制限食を食べている方の割合が多いことが影響していると考えられます。

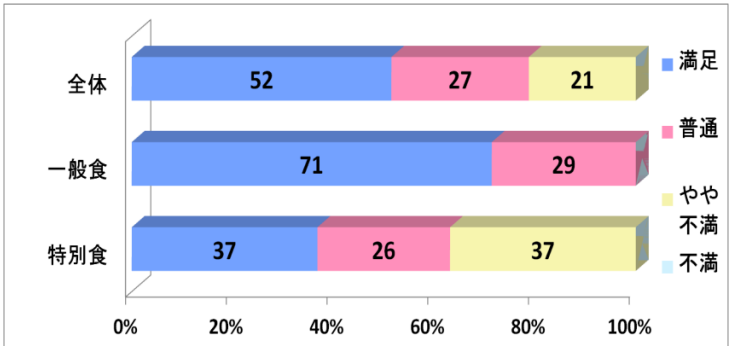


図2.食事の満足度

全体では「満足」「普通」と回答した方が約 8 割でした。一方で、特別食では「やや不満」と回答した方が 4 割という結果となりました。

【その他意見】
・れんこん、キャベツ、玉葱がかたかった。・小鉢のバラエティがあると良いと思った。
・患者に合わせているので良い。　　等々…。

～　まとめ　～

今回の調査結果では、全体的な満足度としては「満足」「普通」が多い結果となりました。一方で、全体の約 2 割の患者さまからは「やや不満」というご意見をいただきました。（図 2）当院では、塩分制限を必要とする患者さまが増えている現状があり、「味が薄い」と感じている方が増えていると考えられます。（図 1）

日本人の食事摂取基準 2020 年版では、食塩相当量について目標量が引き下げられ、より一層の塩分制限が望まれているため、今後は、調理方法や献立を工夫して、減塩でも食事を楽しんでいただけるように工夫していきたいと思います。また、減塩の必要性を理解していただけるよう説明に努めてまいります。その他、患者さまに高年齢の方が増えているためか、野菜類が「かたい」と感じている意見も複数あげられたので、食材や調理方法を検討していきます。今回の結果を患者食の献立に反映させ、満足度の向上を図り、栄養面からも治療のサポートを行っていきたいと思います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。　　栄養科一同

紡ぐカフェ　【頭部を打撲された方の注意事項】

＜転んで頭を打ったしまった方へ当院でお渡ししている注意書きです＞

頭部打撲により、頭蓋骨骨折、硬膜外血腫、硬膜下血腫、くも膜下出血、脳内出血、脳挫傷、脳震盪等が起こり得ます。打撲から 24 時間は注意深い観察と安静が必要です。
（打撲部は冷やしていただいて構いません。）脳出血、脳挫傷等が起こってなければ直後に症状はなく、打撲から数時間後に発症してくる事があります。
その場合は、

イ．頭痛、嘔気、嘔吐、意識障害

ロ．言語障害、片麻痺（一側の手足が動かし難い。ふらついたり、歩行時片側に寄っていく）

等の症状が認められ、当日に緊急手術が必要となる可能性があります。

①高齢者の場合

1～2 か月後に慢性硬膜下血腫を生じることがあります。その場合は上記症状の他、怒りっぽくなったなどの性格変化（逆に性格が柔らかくなる場合もあり）、もの忘れ症状、食欲がない、元気がない、歩行障害、尿失禁が認められ、数日中に手術治療が予定される場合があります。

②乳幼児の場合

機嫌が悪い、元気がない等の他、いわゆる「たんこぶ」が大きくなって貧血が生じることもあります。打撲が原因でてんかんを生じることもあります。

これらの症状、もしくは何となく様子がおかしいと感じたら、連絡の上、すみやかな受診をお勧めいたします。これからの寒い季節は足元にご注意下さい。

脳神経外科部長　岡村大成

編集後記

いつの間にか暑い夏も終わり、聞こえてくるのは、新聞・テレビのコロナ情報。勤務にきても発熱、コロナ対応の毎日。感染を意識して GoTo キャンペーンも我慢。

朝の通勤で澄み渡った青空と秋の草花、紅葉に心癒され、実りの秋、食欲の秋をささやかに楽しむ今日この頃です。

地域連携室　佐野洋子

「富士病院だより」

第 18 号　2020 年 11 月発行

発行人：園田紀夫（院長）

編集長：佐野洋子（地域連携室長）

公益社団法人
有隣厚生会 富士病院（にいはし）

〒412-0043 静岡県御殿場市新橋1784

TEL 0550-83-3333㈹　FAX 0550-83-4835

http://www.yuurinkouseikai.or.jp/

外来受付

（午前）11：30 まで　（午後）16：30 まで

休診日

土曜午後、日曜日、祝日

年末年始（12 月 30 日～1 月 3 日）

診療科目

内科／循環器内科／腎臓内科／消化器内科

糖尿病内科／透析内科／呼吸器内科

脳神経内科／脳神経外科／心臓血管外科

外科／乳腺外科／大腸・肛門外科／泌尿器科

小児科／整形外科／リハビリテーション科

眼科／皮膚科／婦人科／放射線科

麻酔科／ペインクリニック内科

健診・人間ドック

交通案内

JR 御殿場駅 箱根乙女口 より徒歩約４分

東名高速「御殿場インター」より車で約３分